

Title	企業成長と財務体質の強化
Sub Title	
Author	大久保寛(Ookubo, Hiroshi) 高橋吉之助
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1979
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001979-0014

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名 大久保 寛 主査 高 橋 吉之助 教授
(東亜燃料工業株式会社) 副査 伏 見 多美雄 教授
所属ゼミナール 柴 田 典 男 研 柴 田 典 男 助教授

企業成長と財務体質の強化

本論文は、企業成長と財務体質の強化と云う両立し難い問題を現実の企業がどのように解決していったと云う点につき実証研究を試みるものである。

従来の研究では、企業成長は投資の問題として、又財務体質については財務論から進められている。しかし、両者を同時に研究するものは少なかったように思う。しかし、現実には、両者を同時に考慮することにより経営はなされている筈である。本論文では、その点に着目し、試論を試みた。その際の研究の進め方については下記のとおりである。

- (1) 先づ、成長の為の投資がどのような性格のものであり、その投資の成果はどのように計測すべきかと云う点の説明を行なった。この点については、従来の研究からの貢献も多いが問題もあった。その問題点は大別して2つある。
 - (i) 投資の意味する範囲はどこまでであるか。投資には、設備投資、運転資本投資及び金融資産への投資などがある。故に企業の投資は、企業の意図により広がってしまう。
 - (ii) そうかと云って、投資の問題を個別に検討する、と云うことになる企業全体の財務体質の問題を無視してしまうことになる。こうした問題につき、筆者の見解を述べて、企業の投資態度につき説明を行なう。
- (2) そうした場合に問題となるのが、現実に目標とすべき、利益や資本コストが企業の投資判断にどのように利用されていかねばならないかと云う点につき、問題を整理し、筆者の提案を行なう。
- (3) 上記の提案に基づき、新しく測定尺度の定義を行ない、実証分析へのつなぎとなる。

以上の過程を経て、実証分析を行なうわけである。ここでは、企業経営者が、企業全体を統括する立場から意思決定を行なう際に役立つことを目的とした。

以 上